

緑化だより

No.228

令和 8年7月号



アメリカデイゴ

- 季節の花(ぬなは(ジュンサイ))
- 水生昆虫の話
(コカクツツトビケラ)
- 小さな世界こけ
(ソリシダレゴケ)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

ryokka no mori

広島県緑化センター



〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL <https://ryokka-c.jp>



広島県
緑化センター
二次元コード

季節の花

めなは(ジュンサイ)

「あが情(こころ) ゆたにたゆたに 浮蓴(うきめなは)

辺(へ)にも 奥(おく)にも 寄りかつましじ」

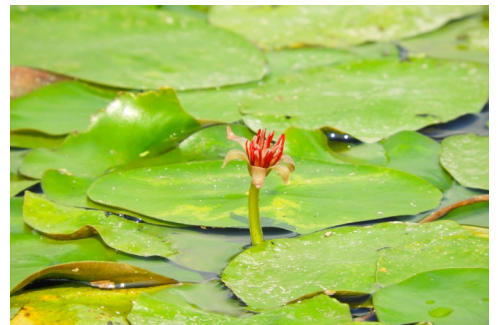
作者未詳 萬葉集 卷7-1352

(私の心はゆらゆら揺れ動いて落ち着きがなく、まるで水に浮いている蓴菜(じゅんさい)のようです。
岸边にも沖にも寄ることが出来ずゆらゆら揺れています。)

求愛された乙女が、気持ちを決めかねて心が揺れ動いている様子を、池に浮く「めなは」に重ねて詠っています。

古名は、水中に長い茎や葉柄を伸ばすところから、沼の縄を縮めて「沼縄(めなは)」といわれました。
ジュンサイはスイレン科の多年草で、北海道～沖縄まで全国に自生しています。

澄んだ淡水の池や沼に生える水草で、若い葉や茎は透明なゼリー状の粘液に覆われてヌルヌルしています。根茎は泥の中を横に這い、まばらに分岐します。水中から細長い葉柄が伸び、葉は互生し水面に浮かび、6～8月には約1.5cmの暗紅紫色の花が水面から立ち上がって咲きます。



ジュンサイ

奈良時代から食用とされており、小さな浮舟を竿1本で操り、水面の若葉、若芽を収穫します。

透明なゼリー状の粘膜に覆われたジュンサイは酢の物、汁の実として食されています。

日本料理では夏の訪れを告げる食材として珍重されて、生産量が日本一の秋田県では郷土料理として有名です。(上村)



ジュンサイの収穫風景

水生昆虫の話

コカクツツビケラ

強い日差しが照りつけ、いよいよ本格的な夏がやってきましたね。緑豊かな緑化センターの森ではセミの大合唱。こう暑いと、エアコンの効いた部屋から出たくなくなりますが…ひんやりとした小川の中では、そんな暑さまでこ吹く風、涼しい水の中で超マイペースに「模様替え」を楽しんでいる、小さくておもしろい川の中の「ミノムシ」をご紹介します。その名は「コカクツツビケラ」。

トビケラはガやチョウに近い昆虫の仲間で、幼虫の時期は芋虫のような姿をしていて、川底で暮らす水生昆虫なのですが、この虫の一番の魅力は、なんといっても自分で作る「お家(巣)」にあります。実はかなりの「こだわり派建築家」。なんと、成長に合わせてお家を劇的にリフォームするんです。

生まれたばかりの小さな幼虫のときは、川底の砂粒をきれいに丸くつなぎ合わせて、細長い円筒形の「シックな砂の家」を作って暮らしています。

ところが、体が大きくなってくると、今度は川に沈んでいる落ち葉を四角くチョキチョキとかじり取り、その落ち葉をパズルのようにペタペタと貼り合わせて、写真のような「オシャレな四角い落ち葉の筒状の家」へと作り替えてしまうのです。ちなみに、ごくたまに前半分が葉っぱで、後ろ半分が砂という「リフォーム途中」の個性的な家を着て歩いているツワモノが見つかることもあります。

お家づくりに利用している落ち葉は、お家の材料だけでなく、お腹を満たす大切な食べ物でもあります。トビケラさんたちは、むしゃむしゃと流れてきた落ち葉を食べて川をきれいにしてくれる、自然界のお掃除屋さんでもあるんです。

いよいよ大人(さなぎ)になる時は、自慢の家を川底の石にしっかり固定し、引きこもって大変身の準備を始めます。やがて夏空の下へ、ガに似た姿の成虫となって飛び立っていくのです。

この夏、センターの川辺を散策されるときは、ぜひ水がゆるやかに流れる落ち葉のたまり場をそっと覗いてみてください。小さな落ち葉のかげらが

ひよこひよこ歩いていたら、それはリフォームを終えたトビケラのお家かもしれませんよ！(西村)

小さな世界 こけ

ソシダレゴケ

溪流路を歩いていると、中間付近に少し広がっているところがあります。その倒木に細長いコケが這っていました。

同定して頂いたところ、ソシダレゴケとの事でした。

セン類ハイモゴケ科のソシダレゴケは雌雄異株。

山間の湿度の高い谷間の樹木や岩上に生育します。

枝は不規則に羽状分岐し、乾燥すると枝の先は立ち上がります。葉は枝を取り囲むようにつけ、長さ 2~3 mm で広卵形、葉先は細長く伸びています。中肋は葉の 2/3 くらいまであります。

又、広島市の絶滅危惧に選定されています。(山根)



小さな幼虫の時の巣



体が大きくなった時の巣



倒木に生育しているソシダレゴケ



ソシダレゴケの拡大

研修会のご案内

- | | |
|--|--|
| ○ 7月 1日(水) 『7月の植物観察会』
散策路を歩きながら植物を観察します
※ 自由参加、無料 | 10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師：森林インストラクター
駄賀 恒男 |
| ○ 7月 5日(日) 『夏のきのこ教室』
園内でキノコを採集し、午後、持ち寄ったキノコを鑑定します
※ 自由参加、無料、採集用かご持参 | 10:00～14:00 第3駐車場 集合
講師：きのこアドバイザー
川上 嘉章 |
| ○ 7月 19日(日) 『夏休み昆虫教室』
昆虫の生態や採集方法を学び、屋外で採集します
※要予約(6/19～7/5の期間、
HPより事前申込み、抽選で30名)
無料、採集用具持参 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：技術士(環境部門)
亀山 剛 |
| ○ 7月 19日(日) 『夏休み自由工作塾』
※ 自由参加(随時受付)、材料費1作品100円 | 10:00～15:00 レストハウス裏庭
講師：緑化センターボランティア
ふれあい湧 |
| ○ 7月 20日(月・祝) 『藍のトントン染め』
藍の葉をトントンたたき、ハンカチを染めよう
※要予約(6/20～7/6の期間、
HPより事前申込み、抽選で10作品) 材料費500円 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：サイエンス インストラクター
山縣 圭子 |
| ○ 7月 26日(日) 『昆虫標本作り入門』
昆虫について学び、標本を作ります
※要予約(6/26～7/12の期間、
HPより事前申込み、抽選で12作品) 材料費1,200円 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：技術士(森林部門)
相良 伊知郎 |
| ○ 7月 26日(日) 『夏休み自由工作塾』
※ 自由参加(随時受付)、材料費1作品100円 | 10:00～15:00 レストハウス裏庭
講師：緑化センターボランティア
ふれあい湧 |
| ○ 8月 2日(日) 『水生昆虫を探そう』
溪流の水生昆虫を採集して観察します。
5歳以上小学生以下 対象(小学3年生以下の
児童が複数参加の場合、保護者は2名以上つくこと
※要予約(7/2～7/19の期間
HPより事前申込み、抽選で20名) 無料、雨天中止 | 10:00～12:00 第2駐車場 集合
講師：環境カウンセラー
西村 浩美 |
| ○ 8月 2日(日) 『夏休み自由工作塾』
※ 自由参加(随時受付)、材料費1作品100円 | 10:00～15:00 レストハウス裏庭
講師：緑化センターボランティア
ふれあい湧 |

♪ ☆ お知らせ・ご案内 ☆ ♪

◎ 展示会

場所：レストハウス (ボード展示)

第19回ひろしま遊学の森

こども写生大会作品展

～7月1日(水)

広島県愛鳥週間ポスター

入賞作品展

7月22日(水)～8月19日(水)

